

哲風会通信

2020.10 vol105

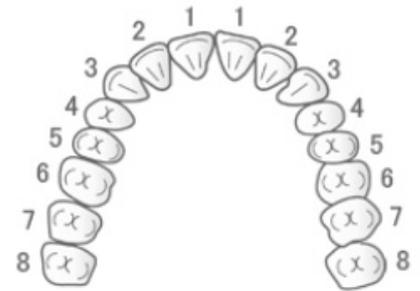


暑い夏が終わって、過ごしやすい季節になってきましたね!(^^)! 秋は食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋とよく聞きますよね? みなさんはどんな秋をお過ごしですか? 旬の美味しい食材も多くなってきたので嬉しい反面、太らないか心配です(^_^;)

☆CAD/CAM冠（保険の歯）☆

銀歯以外で、保険の範囲内で作れる（白い）かぶせ物です。レジンとセラミックスを混ぜ合わせた材料なので従来の物よりも強度が上がってきています。金属を使わないので金属アレルギーが心配な人でも安心できます。

今では条件がそろっていれば1から6までの歯を、金属を使わない被せ物で被せることができます。



♪セラミック（自費の歯）♪

・審美性に優れている

透明感やツヤを出し、自然な色調を回復できます。

そのため、審美性が特に求められる前歯の治療に適しています。

・汚れが付着しにくい

セラミックは汚れが付きにくく、変色しにくい特徴があります。時間が経っても高い審美性を維持しやすいのは大きなメリットと言えるでしょう。

・金属アレルギーの人でも安心

金属を使用しないので、金属アレルギーの人でも安心して使用できます。

・デメリット

セラミックはCAD/CAM冠より硬いですが、陶器と同じような陶材でできているので、強い衝撃で欠けることもあります。

♠ジルコニア（自費の歯）♠

ジルコニアとは、白い金属とも呼ばれ、通常の歯科用セラミック（陶材）より

も強度に優れた材料です。

ジルコニアは強度的に優れているので被せ物自体の破折のリスクは少なく、力がかかる奥歯にも使用できます。

また、セラミックと同じで汚れが付きにくく、金属を使用していません。

ジルコニア単体ではセラミックよりは透明感がないのですが、強度が強いため奥歯で使用されことが多いです。

着色や変色が起こりにくい

詰め物や被せ物の審美性を低下させる要因として、着色という変化が挙げられます。自分の歯においても、変色を気にされている方は多いかと思います。

コーヒーや赤ワインなど、着色性の強い食品を毎日摂取していると、歯質というのは着色してしまいます。いわゆる黄ばみや黒ずみといったものですね。実は詰め物や被せ物にもこうした変化が現れます。

特に、レジンとセラミックを比較した場合、レジンの方が着色する傾向が強いです。また、レジンを使い続けることによって材料自体が劣化し、着色だけでなく変色を起こすこともあります。

一方、セラミックやジルコニアは、こうした着色や変色といった変化が起こりにくいといえます。

今月の担当

むさしデンタルオフィスの最上です。今月はハロウィンですね♪今年は犬に仮装させて楽しもうかと思っています!(^^)!

このコロナの中、悶々とすることもあると思いますが、なんとか頑張りましょう!



医療法人 哲風会
ちづ歯科クリニック

〒018 - 1605
南秋田郡八郎潟町川崎字昼寝
233 - 1
TEL:018-875-2801

医療法人 哲風会
むさしデンタルオフィス

〒010 - 0912
秋田市保戸野通町4 - 8
TEL:018-853-8214
フリーアクセス:0800-800-8461